

八戸学院

八戸市美保野13-98

☎0178-30-1411



学校法人光星学院 理事長

法官 新一氏



短期大学部幼児保育学科2年生によるオペレッタ発表会の模様

地域連携と本学の役割

「2019年度に向けて。今年度の正月は、箱根駅伝に出場した卒業生の姿に感動をも

ら看護学科の移行が完了し、短期大学部では介護福祉学科がスタートします。光星高校では単位の導入し、新たな学習プログラムで新年度を迎えます。また、八戸学院幼稚園は認定こども園としての体制も整いました。さらに、海外からの留学生受け入れ事業等も順調に展開し、新たにインフィニティ国際学院(通信制)が開校されます。

「今年度の正月は、箱根駅伝に出場した卒業生の姿に感動をも、高校野球の東北代表に決定し、八戸学院大学では、短大から看護学科の移行が完了し、短期大学部では介護福祉学科がスタートします。光星高校では単位の導入し、新たな学習プログラムで新年度を迎えます。また、八戸学院幼稚園は認定こども園としての体制も整いました。さらに、海外からの留学生受け入れ事業等も順調に展開し、新たにインフィニティ国際学院(通信制)が開校されます。施設整備事業としては、今年1月に着工した人工芝のグラウンド2面が7月に完成します。施設の充実によって、学生や生徒の教育活動に一層弾みがつくものと期待しています」

「地域との連携強化は、変遷する時代にあって、17年度の法人60周年を機に掲げた四つの方針を継続していくことにしましたが、今年には特に地域との連携強化を進めることを重点としています。昨年、八戸市、八戸商工会議所、八戸工業大学、国立八戸工業高等専門学校との間で包括連携協定を結ぶことができました。今後は、行政あるいは地域企業等との連携事業の具体的な活動を展開して、人材育成、地域活性化、人口減少への対応など地域の課題に共に取り組み、本学の役割を果たしてまいります」と思っています。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです